

政策分析シート（平成29年度）

政策名	目標の設定と管理による行財政運営の戦略的推進		政策No	15	部名	総務企画部	
					部長名	五味	内線 2100
関連部名	管理部、区民生活部						
行政評価事業体系	分野	計画推進のために					
目的	目標の設定により成果を重視した戦略的な行政運営に取り組むとともに、行政改革の推進や事務事業の再点検等をおして、健全かつ安定的な財政運営を推進する。 また、更に質の高い行政サービスを提供するため、区職員の人材育成に努める。						
指	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文		
		26年度	27年度	28年度			
標	政策の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明	
		26年度	27年度	28年度	29年度見込み		
	経常収支比率(%)	85.5	81.8	81.7	85%程度	85%程度	経常経費充当一般財源 / 経常一般財源総額 × 100
	区民税徴収率(現年課税分)(%)	97.57	97.87	98.18	98.51	99.08	収入額 / 現年調定額 × 100

(単位：千円)

行政コスト計算書	行政費用	勘定科目	27年度	28年度	差額	勘定科目	27年度	28年度	差額
		給与関係費		687,534		地方税等		16,667,525	
		物件費		1,401,952		国庫支出金		36,318	
		維持補修費		41,059		都支出金		28,531	
		扶助費		0		分担金及び負担金		0	
		補助費等		163,069		使用料及び手数料		14,650	
		減価償却費		55,987		その他行政収入		387,649	
		不納欠損・貸倒引当金繰入額		44,069		行政収入合計(a)		17,134,673	
		賞与・退職給与引当金繰入額		33,799		行政収支差額(a)-(b)=(c)		14,653,404	
		その他行政費用		53,800		金融収支差額(d)		39,625	
		行政費用合計(b)		2,481,269		通常収支差額(c)+(d)=(e)		14,693,029	
		特別費用(g)		1,970		特別収入(f)		57,486	
特別収支差額(f)-(g)=(h)		55,516		当期収支差額(e)+(h)		14,748,545			
貸借対照表	流動資産	勘定科目	27年度	28年度	差額	勘定科目	27年度	28年度	差額
		収入未済		904,060		流動負債		130,454	
		不納欠損引当金		74,943		還付未済金		18,758	
		その他の流動資産		16,760,741		特別区債		53,235	
		有形固定資産		4,693,536		賞与引当金		31,664	
		土地		4,185,653		その他の流動負債		26,797	
		建物		2,424,657		固定負債		1,056,088	
		建物減価償却累計額		1,919,814		特別区債		714,235	
		工作物等		277,410		退職給与引当金		338,973	
		工作物等減価償却累計額		274,370		その他の固定負債		2,880	
		無形固定資産		1,474		負債の部合計		1,186,542	
		建設仮勘定		0		正味財産		39,015,630	
その他の固定資産		17,917,304		正味財産の部合計		39,015,630			
資産の部合計		40,202,172		負債及び正味財産の部合計		40,202,172			

政策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>全ての政策、施策、事務事業を対象とした分析、評価を行う「行政評価」を毎年度実施することで、事業の改善や見直しを図っている。</p> <p>区政の担い手である職員を、区民の幸せをより高める役割を有する「人財」として位置付け、有為な人材の確保や活用に努め、その育成にも注力してきた。</p> <p>情報セキュリティ対策として、サーバの二重化や生体認証方式の導入などを実施した。また、職員への意識啓発として、標的型攻撃訓練などを行っている。</p> <p>公共施設等の多くは高度経済成長期に集中的に整備されており、今後、同時期に老朽化を迎えるため、集中する改修・改築等に多額の費用が必要となるが見込まれる。</p>
課題	<p>事業の効率化や必要性・有効性等を考慮した改善・見直しに取り組むことで持続可能な行財政運営を行っていく必要がある。</p> <p>ますます高度化・複雑化する行政需要に的確に対応していくために、多様かつ有為な人材の確保、組織的・計画的な職員育成を行い、限られた人材資源を最大限有効に活用する必要がある。</p> <p>マイナンバー制度の情報連携に伴う個人情報の取扱い量の増加や、サイバー攻撃といった最新の事態に対応できるよう情報収集し、セキュリティ対策を強化・拡充していく必要がある。</p> <p>人口ビジョンにより、人口の微増が見込まれる中、公共施設等に関しては、地域間の人口分布や区民ニーズの把握・分析を踏まえた更新・再配置の実施など、総合的な管理運用が必要である。</p>
今後の方向性	<p>先進的な施策や創意あふれる事業の展開により、区民サービスの向上や施策の充実を重視した新しい形の行政改革を不断に推進し、財政の健全化と効果的かつ効果的な区政の実現を図っていく。</p> <p>質の高い行政サービスを提供するため、職員の意識改革や意欲向上を促すとともに、能力開発を通じた人材育成を図っていく。</p> <p>システムの最適化、利便性向上を図るとともに、情報セキュリティ対策により業務継続性と安全性を確保する。</p> <p>公共施設等の全体の状況を把握し、長期的な視点を持って、長寿命化や更新に取り組み、財政負担を平準化するとともに、総合的かつ計画的な管理運用に努める。</p>

政策を構成する施策の分類

施策名	政策推進のための分類		分類についての説明・意見等
	29年度設定	30年度設定	
戦略的な政策形成と行政改革の推進	重点的に推進	重点的に推進	新公会計制度と行政評価システムを連携することでより精緻な財務情報に基づいた分析、評価を実現するとともに、新たに施設分析シートを導入し、より戦略的・計画的な区政運営を実践していく。
健全な財政運営	重点的に推進	重点的に推進	行政サービスの安定的かつ継続的な提供のためには、中長期的視点に立った健全な財政運営が不可欠であり、当該施策の優先度は極めて高い。
税収の安定的な確保	推進	推進	税収、徴収率は上昇傾向にあるが、より強固な徴収体制の構築が課題となっており、当該施策の優先度は極めて高い。
人材の活用と職員育成の充実	重点的に推進	重点的に推進	職員は区政を牽引する力の源であり、職員一人一人の持てる力を最大限引き出す組織体制の確立は、区政を推進する基盤として極めて重要である。
情報システムの適正な整備と安全確保	重点的に推進	重点的に推進	セキュリティや業務継続性の確保に万全を期しつつ、時代に即応したシステムを構築し活用することにより、区民サービスの向上や事務の効率化等を進めていく。
公共施設等の効率的な活用と適正な管理	重点的に推進	重点的に推進	区有財産は、行政サービスを提供していく際の基盤となるものであり、経済的かつ効果的に利用されるよう維持管理していく。